

## R1年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボットの情報

種別	商品名	メーカー名
移乗介護(非装着型)	ロボヘルパーSASUKE	マッスル(株)

## 導入した介護事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
30人	介護老人福祉施設

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>重度化している特養において、日々の業務の中で利用者1人につき数回はベッドと車椅子間の移乗介助が必要であるが、これまで2名対応が必要であった対象者のうち数名に限って移乗の際に活用している。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○介護職員の負担を軽減させることによって職場環境の改善を図り、職員の離職率低下につながっていくと考えられる。 ○移乗介助に係る腰痛の予防になる。 ○コミュニケーションを図りながらの移乗介助が可能となり、双方の心身的負担の軽減並びに擦り傷等の怪我の防止につながっている。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○移乗介助時に表情を観察しながら介助ができるので、双方の心身的負担が軽減された。 ○移乗介助時の腰への負担が軽減し、介助者の体力差に関係なく安易に介助が行うことができる。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p>

## R1年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
移乗介護(非装着型)	離床アシストロボット リンヨーネPLUS	パナソニックエイジフリー(株)

## 導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
60人	介護老人福祉施設

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>体重の重い利用者や座位姿勢保持が難しい利用者の居室に設置することで負担がなく離床でき、他利用者と同様の生活が過ごせる。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○ベッドと車いすの分離機能によりスタッフの業務負担が軽減した。 ○立位の難しい体重の重い利用者の移乗を2人介助で行っていたが、ベッドから車いすへの移乗介助ができるようになった。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○ベッドと車いすに分離することにより、今まで2人介助していたのが1人でできるようになり、その分の時間を他の業務に費やすことができた。 ○移乗の介助負担が大幅に減少した。 ○失禁が多い利用者には不向きで、移乗に難がある利用者ならどなたでも使用できるわけではない。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>失禁への対策を検討・見直しすることでリンヨーネを使用できる利用者を増やし、利用者とスタッフの移乗時の負担軽減につなげる。</p>

## R1年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
移乗介護(非装着型)	離床アシストロボット リシヨーネPLUS	パナソニックエイジフリー(株)

## 導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
50人	介護老人福祉施設

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>重度伸展拘縮のため、通常の車イスに乗ることもできず、離床の持続が困難なため、食事時のみの離床しかできず、終日ベッド上で生活をされている利用者に使用し、離床時間を増やすよう取り組んでいる。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○2人介助で移乗していたが、抱きかかえる必要がないため1人の操作で短時間に離床することができている。 ○利用者も安楽に過ごせるので、離床時間も伸びている(1日6時間の離床が可能)。 ○利用者も楽だと言って生活シーンが拡大し、職員も介護負担が軽減されるだけでなく、利用者が喜んでくれていることに対して喜びを感じている。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○操作は簡単であるし、抱きかかえる必要がないのでとても楽である。 ○身体的負担感、精神的負担感がともに軽減された。 ○2人介助の必要性がなくなったので、他の利用者のケアを向上させることができている。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>次年度以降も現時点では現在使用している利用者に対して使用することを予定しており、利用者のQOLと介護職員の介護負担の軽減に努めていく。</p>

## R1年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
移乗介護(非装着型)	Hug L1-01(s)	(株)FUJI

## 導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
18人	認知症対応型共同生活介護

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>○徘徊などにより、転倒のリスクがある、もしくは2人介助が必要がある利用者の排泄時の移動・移乗介助に使用している。 ○椅子やベッドからの立ち上がりトイレまでの移動、便座への着脱・立ち上がりの介助をロボットにて行っている。また、浴室や居室への移乗介助、口腔ケア時の移動介助にも利用している。 ○導入にあたり、カンファレンス(業者の方からの説明、職員によるロボットの使用体験)にて使用方法を周知している。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○2人介助が必要な利用者の移動・移乗介助が、夜間を含め、職員1人で対応できることが増えている。 ○介護ロボットの使用により、介護従事者にかかる身体的な負担(特に腰部への負担)は軽減している。 ○利用者の移動時の転倒リスクも軽減できている。 ○2人介助にて排泄を行っている利用者が、ロボットの使用により、1人介助にて行えることが増えているため、介助にあたる職員・その他業務にあたる職員に分かれることができ、効率的に業務が行えている。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○腰痛の負担は軽減されたが、声掛けを行っても、利用者が介護ロボットを怖がる等で動いたりするため、後ろ側に1人が回らなければならない、2人介助で使用しなければならないこともある。 ○職員・利用者がロボットの使用に不慣れな場合があるため、再度、指導や利用者への声掛けを工夫し、徐々に使用になじんでいく必要がある。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>○上記、特に③の内容について、利用者への声掛け方法や新人職員への使用方法の指導等を管理者を中心に行っていく。 ○ロボット使用時の反応が、利用者によっても違うので、個々の対応等をカンファレンスでも検討する。</p>

## R1年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
入浴支援	バスリフト EWB100SR	TOTO(株)

## 導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
15人	地域密着型通所介護

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>デイサービスの入浴時に週に5日程度使用している。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○浴槽へ入る際またがなくてもよいし、膝や腰を曲げるのが辛い方への負担が軽減し、満足している。(満足度50%) ○スタッフの介護量の軽減にもなっている。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○体を抱え上げる必要がない等、介護量が減ったため腰痛の職員が減った。 ○使い勝手は複雑でないので使いやすいが、電池の充電に時間がかかるため計画的に利用する必要がある。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>点検は定期的に行い、製品の安全性を確認、整備し安全に効率よく入浴できるようにしていきたい。</p>

## R1年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
入浴支援	wellsリフトキャリー	積水ホームテクノ(株)

## 導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
24人	小規模多機能型居宅介護

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>浴室に当該機器を設置し、片麻痺や下肢機能の低下により入浴が困難であった利用者に安心して入浴してもらっている。概ね1日につき1人～3人が、当該機器を使用して入浴できている。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○下肢機能及び身体機能の低下により入浴が困難であった利用者の入浴回数が概ね2～3倍(週1回が週2～3回)に増加している。 ○機能の使用により、胸までの入浴が安楽に行えるようになっている。 ○これまでは2人介助が必要であった利用者の入浴が1人の職員でも対応でき、業務の効率化が図れているし、2人介助から1人介助になったことで、利用者のプライバシーもより守られるようになっている。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○当該ロボットを導入する前は、入浴をあきらめていた利用者の入浴ができるようになり、よりよい保清が行えるようになった。 ○これまで人の手による介助では、利用者の表情がこわばっていたが、機器の導入後は、リラックスして入浴できているのが印象的である。 ○利用者が喜ばれているので、もっと手早く、安心してもらえるように使用手順につき習熟したい。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p>

## R1年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
排泄支援	ベッドサイド水洗トイレ	TOTO(株)

## 導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
40人	訪問介護

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>転倒リスクが高い、およびトイレ介助の回数が多い利用者を対象として使用した。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○利用者に対する排泄介護の負担を軽減 今回の対象者である利用者は、排泄時は部屋にあるポータブルトイレを使用する必要があったが、この機器を使用することにより、職員が排泄物を処理するまでに部屋内に臭いが充満することを気にする必要性がなくなった。排泄が行いやすくなり、利用者の満足度が上がった。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○ポータブルトイレの排泄物を使用のたびに職員が毎回取り替えていたが、この機器を導入した結果、その仕事をする必要がなくなり、介護負担が減った。 ○汚物処理の量が減ったため、職員の汚物処理をする負担が軽減された。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>今回の利用者は部屋にポータブルトイレを使用する利用者であったが、部屋にトイレがなく、職員が車いすへの移乗介護を行い、共同トイレに行く利用者の場合は、この機器を使用した場合、自己にて排泄が可能となる可能性があり、その場合は職員の介護負担軽減に繋がる可能性がある。</p>

## R1年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	aams介護セット	(株)バイオシルバー

## 導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
50人	介護老人福祉施設

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>○徘徊などによって転倒するリスク及びベッドからの滑落リスクがある利用者の方の居室に機器を設置し、ベッド上での状態変化を携帯端末で把握することによって、状況に応じた対応を行っている。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○見守り機能によるスタッフの業務負担の軽減 ・夜勤時の見廻りの効率化を図ることができた。 ・転倒リスクの回避、トイレ誘導・排せつ介助のタイミングを見極めることにより、心理的負担の軽減や事後の追加業務の発生を未然に防ぐことができた。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○見廻りの効率化が図られることにより、従来、見廻りしていた時間帯を別業務に振り替えることができ、業務全体の効率が良くなった。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>○見廻りの効率化が図られることにより、従来、見廻りしていた時間帯を別業務に振り替えることができ、業務全体の効率が良くなった。</p>

## R1年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	CAREai	ハカルプラス(株)

## 導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
29人	地域密着型介護老人福祉施設

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>ベッドからの起き上がり時に転倒するリスクがある利用者の方のベッドに機器を配置し、いち早く離床を検知し、立ち上がりまでに対応ができるようになった。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果</p> <p>※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○見守り機能によるスタッフの業務負担の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜勤時の見廻りの効率化を図ることができた。(見廻りのための訪室回数が20%削減)</li> <li>・転倒リスクの回避、トイレ誘導・排せつ介助のタイミングを見極めることにより、心理的負担の軽減や事後の追加業務の発生を未然に防ぐことができた。</li> </ul> <p>○夜間時の訪室が必要時に限定されたことによって、利用者の精神的負担が軽減された。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見</p> <p>※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○センサーが離床をいち早く検知するため、立ち上がりまでに対応できるようになって、転倒リスクが減ったのが良かった。</p> <p>○見廻りの効率化が図られ、時間に余裕ができた。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画</p> <p>※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>センサーの誤検知があることから、利用者様毎にセンサーの設置場所を考えて、誤検知による訪室回数の軽減につなげる。</p>

## R1年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	SensingWave介護睡眠見守りシステム	凸版印刷(株)

## 導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
100人	介護老人保健施設

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>○徘徊などによって転倒するリスクがある利用者の方の居室に機器を設置し、ベッド上での変化を察知することにより、素早い対応ができています。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○見守り機能によるスタッフの業務負担の軽減 ・夜勤時の見廻りの効率化を図ることができた。(見廻りのための訪室回数が30%削減) ・転倒リスクの回避、トイレ誘導・排せつ介助のタイミングを見極めることにより、心理的負担の軽減や事後の追加業務の発生を未然に防ぐことができた。</p> <p>○夜間時の訪室が必要時に限定されたことによって、利用者の精神的負担が軽減された。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○見廻りの効率化が図られることにより、従来、見廻りをしていた時間帯を別業務に振り替えることができ、業務全体の効率が良くなった。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>○機器を使用することにより、排せつのパターンをつかみ、他の対象者に使用できるようにしたい。</p>

## R1年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	コールマット・コードレス(HC-R)	(株)テクノスジャパン

## 導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
146人	介護老人保健施設

## 使用状況及び導入効果等

①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）
○ベッドから急に起き上がり転倒する危険のある利用者に対して使用している。 ○コードなど目に付くと壊してしまったり、断線させてしまったりする人に使用している。
②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等
今のところコードを引き抜いてしまうような行為はなく順調に使用できている。
③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等
目につくコードがなくセンサーマットとして使用できている。
④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画
使用できる利用者を見極めて使用し、台数を増やすことで危険回避できれば使用していきたい。